

《履修上の留意事項》初級韓国語の学習目標及び学習内容をよく読んで、履修するようにする。

《担当者名》韓 然善（非）

【概要】

韓国語の基礎的な文字の仕組みを理解し、発音、文構造、簡単な会話を習う講座である。

【学修目標】

- ・韓国語の基本的な発音や発音の規則を学び、正確に発音することを目標とする。
- ・基礎語彙と簡単な文章を理解し、表現する能力を身に付ける。
- ・挨拶、自己紹介、趣味など、日常生活でよく使われる表現を習得する。
- ・写真、映像資料（映画・ドラマ）・音声資料などのコンテンツを活用し、韓国語や韓国文化について学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	韓国語の歴史、ハングルの仕組み	韓
2	第1課 文字と発音（1）	基本母音	韓
3	第1課 文字と発音（2）	基本子音	韓
4	第1課 文字と発音（3）	パッチム（鼻音、流音）	韓
5	第2課 文字と発音（4）	基本子音	韓
6	第2課 文字と発音（5）	合成母音	韓
7	第2課 文字と発音（6）	発音の規則（連音化、有声音化）	韓
8	第3課 文字と発音（7）	激音、濃音	韓
9	第3課 文字と発音（8）	パッチム（閉鎖音）	韓
10	第3課 文字と発音（9）	仮名のハングル表記、第1～3課のおさらい	韓
11	第4課 韓国人です（1）	丁寧表現（ハムニダ体）、助詞「は」	韓
12	第4課 韓国人です（2）	自己紹介	韓
13	第5課 韓国語は専攻ではありません（1）	丁寧表現（ヘヨ体）、助詞「が」	韓
14	第5課 韓国語は専攻ではありません（2）	否定表現	韓
15	全体まとめ	第4～5課のおさらい、全体のまとめ	韓

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験50%、授業参加度（授業の取り組み、課題、小テスト）50%

【教科書】

李潤玉・酒勾康裕他著 『三訂版・韓国語の世界へ(入門編)』 朝日出版社 2019年

【参考書】

その都度プリントを配付する。

【備考】

Google Classroom を利用して学習課題や参考資料を提示する。

【学修の準備】

授業時間外に補充ウェブ教材やワークシートを活用して、予習・復習に取り組む。（一コマの授業につき、事前事後合わせて2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5,4

【留意事項】

書く練習や発音練習を重点的に行うので、授業には積極的に参加する。